

十二月三十一日（むかしは「おおつごもり」と言いました。）の午後十一時四十五分ごろから、寒いのをがまんして外に出ると、ゴーゴーとかねの音が聞こえてくると思います。そう、除夜のかね。

除夜のかねはふつう百八つ鳴らします。それは煩惱の数だといわれています。仏教では煩惱というのはいけな心。かねをききながら自分の心と向き合い、よりよく生きようと心のおせんたくをする、という意味があります。

しかし、せっかくお寺の多い京都に住んでいる私たちなのですから、たまには自分でかねをつくというのもいいですよ。市内で一般の人にも除夜のかねをつかせてくれるお寺はけっこうあるものです。

おすすめは上京区小川通寺之内下ルの報恩寺。重要文化財のかねは「つかずのかね」ともいわれていて、ふだんは一切ついていません。じつは、ここにはこわい伝説があるのです。大昔、西陣織のでっぴんとおへこさんがけんかした末、おへこさんがここで首をつって死んでしまったそうなのです。それ以来、かねつき堂から夜な夜なすすり泣きの声がかきこえるようになりました。それで、かねはおみそか以外封印されてしまいました。

ちなみに、この寺には毎晩吠えて、豊臣秀吉の安眠をさまたげた虎の絵もあります。黒田長政とお父さんの黒田如水の位牌もあります。黒田如水は官兵衛という名前で、何年前のNHK大河ドラマの主人公にもなりました。長政はこの寺で最期をむかえたそうなのです。

ほかにもたくさんのお寺がかねをつかせてくれますのであたたかくしてでかけてみてはいかがでしょう。詳しくはネットでも検索できますよ。音どくサインー↓

① 何の話でしょう？

（ ） 除夜の金もち （ ） 除夜の金

（ ） 報恩寺ののろい （ ） 除夜のかね

② むかしは大みそかのことを何と言いましたか。

（ ）

③ おへこさんとは西陣織の下働きをした女の人のことです。彼女ととけんかしたのはだれ？

（ ）

④ 除夜のかねをききつつ、心をどうするのですか？

（ ）

⑤ 報恩寺にないものはなんですか？

（ ） 虎の絵 （ ） 秀吉の鐘 （ ） 官兵衛の位牌

⑥ 報恩寺の鐘はふだんはどうなっていますか？

（ ） されている

⑦ 人生のさいごのときには「さいご」は漢字でどう書きますか？

（ ）

⑧ 虎は何の中から吠えたのでしょうか。

（ ）

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） 報恩寺しかかねをつかせてくれない。

（ ） 報恩寺のかねは重要文化財である。

（ ） 除夜のかねは1月1日につき始める。

⑩ 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できればは？

